

令和2年5月19日

保護者各位

聖ウルスラ学院英智小・中学校  
聖ウルスラ学院英智高等学校  
校長 伊藤 宣子

## 本校の学校再開に向けた対応について（お知らせ）

国による緊急事態宣言については、新規感染者数が抑制されていることなどから5月14日（木）付けで宮城県を含む39県の解除が決定されました。

宮城県立学校には、5月4日（月）に示された国の「新型コロナウイルス感染対策の基本的対処方針」等をふまえ、臨時休業を5月31日まで延長し、休業期間内において、感染リスクの低い学校教育活動から段階的に取組を進め、学校再開につなげていくこととなっておりましたが、今回の国の緊急事態宣言解除の決定を受け、6月1日（月）から学校を再開し、通常授業を実施することとするとの決定が、県教育長から通知されました。

さて、本校では、6月の学校再開を目指して、自宅学習期間（Stay Home）中の児童・生徒の皆さんと学校との間で、プリント学習、動画の配信などによるオンライン学習やオンラインホームルーム等を展開いたしております。こんにち、程度の差こそあれ、多くの皆様と共有してありましょ“学校再開を許容する社会的状況が整いつつあるという実感”が「学校再開へのひかり」となって心に明るさをもたらしてくれます。上記の国や県を動きもふまえて検討いたしました結果、既に本校からお知らせしております5月の予定は変えることなく、25日（月）からの分散型登下校の週を経て、6月1日（月）から、概ね通常通りの日課での学校生活を始めたいと思います。これからの学校生活が安全で充実した日々となりますように、保護者の皆様のご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。

しかし、再開後の学校生活は、昨年度までの学校生活とは異なります。ウイルス感染の危険がなくなっているのではないことを一人ひとりが自覚した「新しい生活人としての意識と実践」が肝要でございます。保護者の皆様におかれましては、学校教育現場と軌を一にしてお子様方をお導きいただきたく、そうして、学校現場の教職員と共に力を合わせてこの難局を乗り越えたいと、切に願っております。そのための英智をご教示ください、そしてご協力をお願い申し上げます。子どもたち同士のコミュニケーションの方法が変わっても、強い絆を保ち、また同志の意識が深まるような、お互いを大切にし尊重しあう心の交流ができますように。

お子様には、3月からの前例のない長期の自粛生活の中で、様々な不安や不自由さに気持ちが抑えつけられるように感じられたことでしょうか。知らされるのは、今年度挑むはずだった大会やコンクールの中止ばかり。しかし、子どもたちの心や体は、この期間も成長を続けているのです。表面的には変わらないようでも、大きな飛躍を成し遂げる力を蓄えていたりするものです。どうぞ、お子様たちと共に語り合い、そして、お子様たちの、頑張ったこと、成長したなと感じた事を認めて褒めてあげてほしいと思います。私たちも、然るべく褒め称えます。そうすることで、これからの「新しい学校生活」に順応し、その中で誠実な努力を積み重ねていける意志を強めていきたいと思ひます。

最後に、学校から配信されておりますウイルス感染防止のための様々な通信を再度ご確認いただき、お子様に「ウイルス感染予防のための新しい生活」をご指導いただけますよう重ねてお願い申し上げます。